

日本伝統音楽の魅力を探る レクチャーコンサート Vol.3

琵琶楽はおもしろい

盲僧琵琶、薩摩琵琶、筑前琵琶

琵琶楽の流れと魅力をさぐる



日時 平成19年 **11月29日** (木) 午後6時30分開演

会場 **府民ホールアルティ**

主催 京都和文華の会

共催 真如苑

協力 立命館大学アートリサーチセンター・社団法人 京都デザイン協会
NPO法人 京都文化企画室・NPO法人 櫛の会



盲僧琵琶、薩摩琵琶、筑前琵琶 琵琶楽の流れと魅力をさぐる

「琵琶楽はおもしろい」

○琵琶の音楽

琵琶は古代に中国から伝来した楽器です。日本におけるその源流は宮廷音楽などに用いられた「雅楽琵琶」と宗教的な琵琶としての「盲僧琵琶」に分かれます。雅楽琵琶は独奏曲が名手によって伝えられましたが、秘曲とされたためいつしか消滅し、もっぱら雅楽合奏のみに用いられるようになりました。

盲僧琵琶は九州の僧を中心に伝承されましたが、やがて合戦をテーマとした物語琵琶が生まれ、その中から鎌倉時代には平家物語が成立し、「平家琵琶」の演奏家たちが当道という組織を作り、室町そして江戸幕府の庇護のもとで活動を継続します。

一方、宗教音楽としての盲僧琵琶は主に九州地方において庶民の信仰のなかで生きていきます。そこから、戦国時代には薩摩藩士の子孫教育のために「薩摩琵琶」が成立し曲風の変遷を経て、明治になると東京に進出しました。明治中期には薩摩琵琶の隆盛に刺激を受けて「筑前琵琶」が誕生します。

今回のレクチャーコンサートは練り上げられた声でテンポ良く「釈文」を唱える日向盲僧琵琶、勇壮な薩摩琵琶、優雅で哀愁のある筑前琵琶と、琵琶楽の現代への流れと歴史を辿り、琵琶楽の魅力、楽しさを初心者の方々に存分に楽しんでいただける構成といたしました。

○会場

府民ホールアルティ TEL 075-441-1414
京都地下鉄烏丸線今出川駅下車徒歩5分

○開催日時

平成19年11月29日(木) 午後6時30分開演

○お申込方法

入場整理券が必要です。
10月29日(月)から入場整理券を府民ホールアルティでお渡します。遠方の方、ご都合のつかない方は、はがき又はファックスで京都和文華の会までお申し込みください。満席が予想される場合はお断りすることがあります。

○主催 京都和文華の会

〒611-0033 京都府宇治市大久保町上ノ山51-35
TEL/FAX 0774-43-7577

○共催 真如苑

○協力 立命館大学アトリサーチセンター
社団法人 京都デザイン協会
NPO法人 京都文化企画室
NPO法人 檜の会

○出演者(出演順)

・永田法順(浄満寺住職 宮崎県無形文化財)



現在も檀家を廻るわが国盲僧琵琶の唯一の伝承者。宮崎県無形文化財認定、延岡市無形文化財指定。平成17年度文化庁芸術祭レコード部門で6枚組CD「日向の盲僧琵琶 永田法順」が大賞を受賞。

・田中旭泉(筑前琵琶日本橋会)



人間国宝故山崎旭萃師に師事。平成5年琵琶楽コンクールで優勝。京都で「いづ美会」を主宰。咲くやこの花賞等受賞。現在活動の拠点を岐阜に置く。

・須田誠舟(薩摩琵琶正派 日本琵琶楽協会理事長)



六歳から薩摩琵琶を始め辻靖剛、金田一春彦の両氏に師事。昭和45年琵琶楽コンクールで優勝。「薩摩琵琶正統会」を主催。NHK「北条時宗」では琵琶指導。琵琶界の中心者の一人。

・構成解説

山川直治(国立劇場調査養成部主席芸能調査役)

国立劇場において長年にわたり邦楽公演の企画、制作、演出を担当する。現在、同劇場の主席芸能調査役として調査研究の任に当たる。著作は「邦楽の世界」等多数。日本琵琶楽コンクール審査員。東洋音楽学会会員、楽劇学会会員。